

化学物質等安全データシート (MSDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 (フェロックス) AS 150 一液性製品 表面仕上材
製造者 ITW AMERIKAN SAFETY TECHNOLOGIES INC
565 Eagle Rock Avenue Roseland New Jersey U.S.A
日本総代理店 (株)シンコー プロダクト販売事業部
神奈川県横須賀市汐入 2-5 岩田ビル
TEL 046-821-1681 FAX 046-821-1686
担当者 プロダクト事業部
型式承認 国土交通省型式承認番号第 F-118 号 (H15 年 10 月 9 日)

作成者：プロダクト事業部 日付：15/01/05 改正版：1

2. 組織、成分情報

成分	CASNO	質量%	OSHA	ACGIH
エポキシエステル樹脂	68552-26-1	11	未詳	未詳
キシレン	1330-20-7	18	100ppm	100ppm
プロプレングリコル モノメチルエーテル	107-98-2	2	100ppm	100ppm
アルミノケイ酸塩	37244-96-5	31	10mg/m ³	10mg/m ³
二酸化シリコン (吸収できないサイズ)	14808-60-7	16	0.1mg/m ³	0.1mg/m ³
酸化アルミ	1344-28-1	15	15mg/m ³	10mg/m ³
親油性クレー	71011-26-2	5	適用なし	適用なし
二酸化チタニウム	13463-67-7	1	10mg/m ³	10mg/m ³

カーボンブラック	1333-86-4	1	3.5mg/m ³	3.5mg/m ³
----------	-----------	---	----------------------	----------------------

危険有害成分 キシレン

3. 危険有害性の要約

人体災害

眼 : 刺激性有り。 凝結すると負傷することがある。

皮膚 : 軽度の刺激と過敏症になることがある。

吸入 : 蒸気により頭痛、吐き気、めまい、呼吸器の刺激になることがある。

経口摂取 : 特別な注意事項はない。少々有毒性の物質を含む。

接触により

悪化する症状 : アレルギー湿疹、その他の皮膚炎。

発ガン性データ : 本製品は、二酸化シリコン/シリカ (以下結晶シリカ) を含んでいる。国際ガン研究所 (IARC) は、微粉または結晶状で吸入した場合発ガン性があると指摘した。NTP も第 9 回年次報告で結晶シリカを吸入した場合には発ガン性があると指摘している。OSHA は、結晶シリカを規制していない。

本製品においては、結晶シリカは全て吸入不可能な大きさで材料の中に密封されているので空気中の塵埃に被曝することはない。ただし、機械の取り外しの際は空気中の塵埃を吸入しないよう適切な安全対策をおこなうこと。

この製品中のカーボンブラック顔料は 0.1% 以下の多核性芳香炭化水素 (PAH) を含んでおり、動物実験の結果、発ガン性の疑いがあるということが判明している。カーボンブラックは、NIP または OSHA にリストアップされてはいないが NIOSH は PAH レベルが 0.1% 以上の場合のみ発ガン性の疑いがあると指摘している。また、IARC はカーボンブラックを動物実験の結果、発ガン性の疑いがあると指摘している。本製品においてはカーボンブラックは吸入できる形では存在せず製品にカプセル封入されているので空気中の塵埃に長時間停留することはない。

過度の接触効果 : 刺激性、過敏症、皮膚炎。

4. 応急措置

- 眼 : 大量の水で少なくとも 15 分間洗う。医療手当を受ける。
- 皮膚 : 汚れた衣服を脱ぐ。接触した部分をマイルドな石鹼で 15 分位水洗いをする。
- 吸入 : 新鮮な空気の所へ移動し呼吸が困難な場合は酸素吸入を行う。医療手当を受ける。
- 経口摂取 : 吐かせないこと。(溶剤を含んでいる)。医療手当を受ける。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 二酸化炭素, ドライケミカル又は、泡。
- 特別 消火 対策 : 点火源を全て取り除く。完全人体防護装置を身につける。
水蒸気に接する可能性や発火物質がある場合は自動吸入装置もつける。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業の際には有害なガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、風上から消火作業を行う。

6. 漏出時の措置

- 対策 : 全ての点火源を消す。漏出材料の拡散を止める。
無反応の物質で吸収し廃棄する。汚染した部分を水で強く洗浄する。
洗浄物が水路に入らないようにする。
- 廃棄物処理 : 適用法令に従って許可された危険物廃棄場に廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 技術的対策 : 火気厳禁。電気機材は防爆構造にするほか静電気、スパークなどによる着火源を生じないようにする。吸入、接触のおそれがある時は適切な保護具を使用する。
- 注意事項 : 局所排気装置の設置、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うことが望ましい。
- 保管上の注意 : 適切な換気のある乾燥した冷暗所 (110 °F / 43 を超えないこと) 蜜栓して保管する。
- その他 : 消防法、労働安全衛生法等の法令に定めることに従う。

8. 暴露防止及び保護措置

- 呼吸器防護 : NIOSH / MSHA 承認の防毒マスク、必要に応じて有機性蒸気カートリッジ付を使用すること。
- 換気 : 爆発防止付機械式換気装置、部分的排気が好ましい。
- 手袋 : 不浸透手袋
- 眼の防護 : 化学物質飛沫防護ゴーグル
- その他の防護措置 : 作業中接触のおそれのある場合は、つなぎ服、エプロン、不浸透足カバー等を使用すること。
- 適切な衛生対策 : 作業中は飲食、喫煙をしない。
- 設備対策 : 蒸気を吸入しないように、局所排気装置の設備、設備の密閉化又は全体換気を適正に行うことが望ましい。
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会資料 (2004-2005)
キシレン OEL 50ppm 217mg / m³

9. 物理的及び化学的性質

- 形状 : 顔料入りリビスコペースト 蒸気圧力 : 8 mm Hg at 68 ° F / 20
- 色 : 製品に記入 蒸気密度 : 3.7 (空気 = 1)
- 比重 : 1.65 水溶性 : 若干
- 引火点 : > 81 ° F / 27 PMCC 臭気 : マイルド臭
- 沸点 : > 240 ° F / 116 蒸発率 : 0.7 (ブチルアセテート = 1)
- 爆発 : 密閉した容器は高温に接すると破裂することがある。(内部圧力増加のため。) 分解物質や燃焼物質は有毒のことがある。

10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 通常の条件下では安定。
- 避けるべきこと : 極度の高温。
- 避けるべき材料 : 強い酸化剤。
- 危険融解物質 : 一酸化炭素、二酸化炭素。
- 危険な重合 : 発生しない。

11. 有害性情報

経口慢性毒性：キシレンは厚生労働省通達で、経口慢性毒性クラス4が認められた既存化学物質である。

吸入慢性毒性：キシレンは厚生労働省通達で、吸入慢性毒性クラス4が認められた既存化学物質である。

作業環境：キシレンは厚生労働省通達で、作業環境クラス4が認められた既存化学物質である。

生態：キシレンは厚生労働省通達で、生態クラス1が認められた既存化学物質である。

12. 環境影響情報

現在の所知見なし。

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物（廃油と廃プラスチック類の混合物）として許可を受けた専門業者に処分を委託する。

乾燥して固形状になったものは、廃プラスチック類として処理する。

空容器を廃棄するときは、内容物を完全に除去しておく。

本製品は出荷した状態で廃棄すると、40CFR261の着火性ありという危険廃棄物のEPA基準に合致してしまう。適用法令に従って許可された危険物廃棄場に廃棄する。

14. 輸送上の注意

注意事項：7の「取扱い及び保管上の注意」の項の記載に従うこと。

国内規制：陸上輸送 消防法、労働安全衛生法等に定められた運送方法に従う。

海上輸送 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送 航空法に定められている運送方法に従う。

国連分類：クラス3（引火性液体）

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法(PRTR) 第一種指定化学物質(キシレン)
消防法 危険物第4類引火性液体第2石油類

16. その他の情報

従業員に安全なシャワーと目の洗浄装置をそなえなければならない。
汚染した衣服は直ちに脱衣し、再利用前に完全に洗濯すること。
ここに記載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見によるものですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。